お知らせ

河川流量の増加に伴い
利根川河口堰（とねがわかこうぜき）のゲートを全門全開操作しました

１．概要

利根川河口堰では、台風2号の接近及び前線に伴う流域全体への降雨の影響により、利根川河口堰地点の河川流量が増加したことから、6月2日19時36分から6月5日8時46分までゲートを堤防の高さより高く引き上げる全門全開操作を実施し、洪水の安全な流下に支障のないようにしていました。

なお、現在は河川流量がやや減少したため、全門全開操作から数門全開操作に移行しています。

２．状況　※各状況は速報値であり、今後変更することがあります。

【河川状況】

ゲート全門全開操作後の堰直上流地点最高水位：Y.P.＋1.92m
（6月4日4時30分）

利根川河口堰管理所の管理概況は、以下のホームページでご覧になれます。

https://tonekako.sakura.ne.jp/

令和5年6月5日

独立行政法人水資源機構
利根川下流総合管理所　利根川河口堰管理所

水がささえる豊かな社会
独立行政法人
水資源機構

発表記者クラブ
銚子記者会、香取記者クラブ

問合わせ先

独立行政法人 水資源機構
利根川下流総合管理所　利根川河口堰管理所　所長代理　秋本（あきもと）
住所：千葉県香取郡東庄町新宿２２７６
電話：０４７８（８６）０４７７

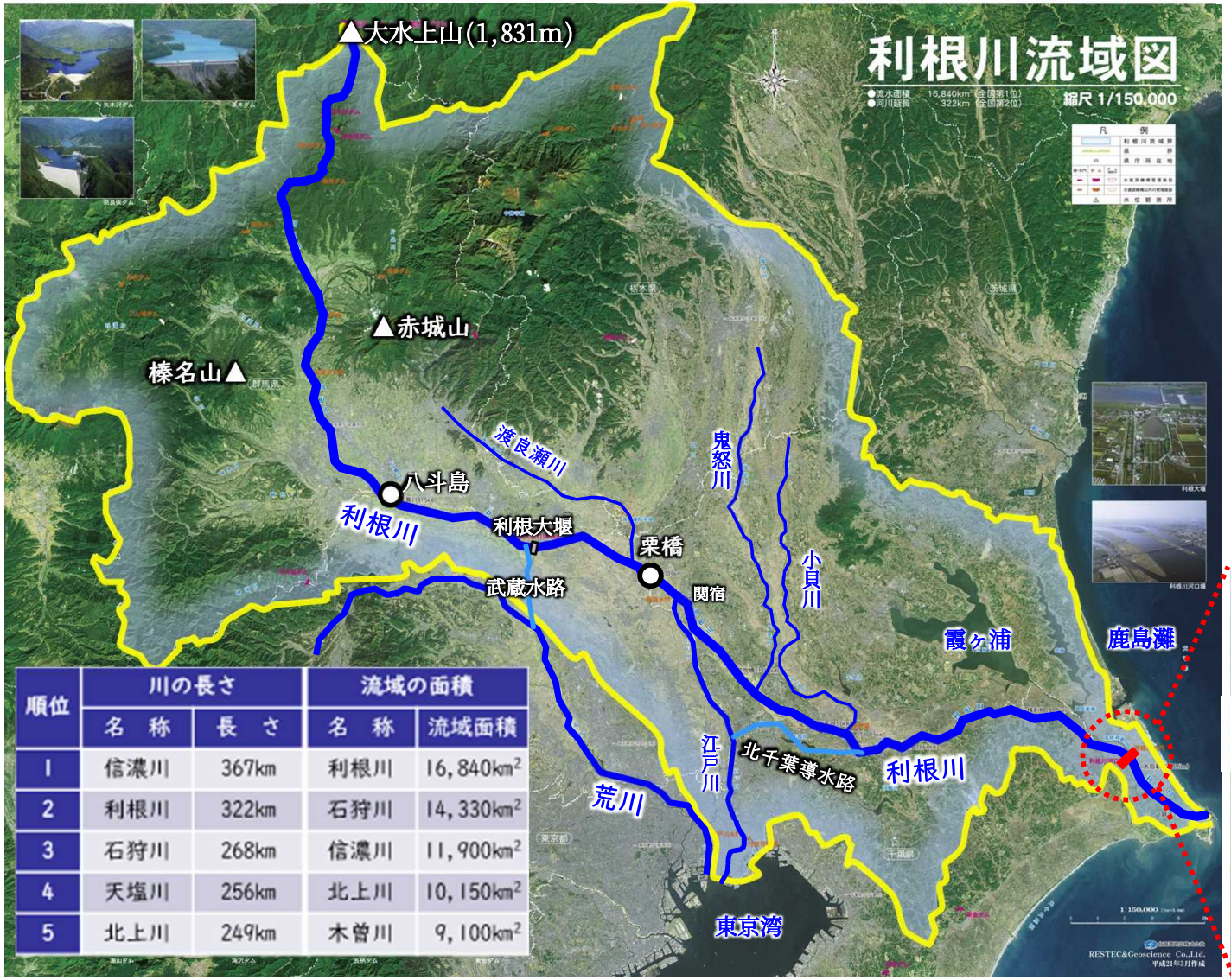
利根川大橋から見た現在のゲート状況

利根川河口堰の概要

独立行政法人
水資源機構
利根川下流総合管理所

利根川河口堰は、利根川の最下流（河口から18.5km）に位置する特定施設※です。
流水の正常な機能の維持、水道用水・工業用水・農業用水の新規供給を目的としています。

※　特定施設・・・洪水（高潮を含む）防御の機能又は流水の正常な機能の維持と増進をその目的に含む施設



順位	川の長さ		流域の面積	
	名　称	長　さ	名　称	流域面積
1	信濃川	367km	利根川	16,840km²
2	利根川	322km	石狩川	14,330km²
3	石狩川	268km	信濃川	11,900km²
4	天塩川	256km	北上川	10,150km²
5	北上川	249km	木曽川	9,100km²

＜利根川河口堰の目的＞

- 利根川下流部の塩害防除
- 利根川下流部の流水の正常な機能の維持
- 新規都市用水の供給
- 農業用水の供給

水道用水	東京都	14.01m³/s
	千葉県	3.48m³/s
	銚子市	0.12m³/s
	埼玉県	1.15m³/s
工業用水	千葉県	1.24m³/s
農業用水	千葉県	4.98m³/s
	計	24.98m³/s

＜黒部川水門の目的＞

- 利根川下流部の塩害防除
- 黒部川の洪水防御

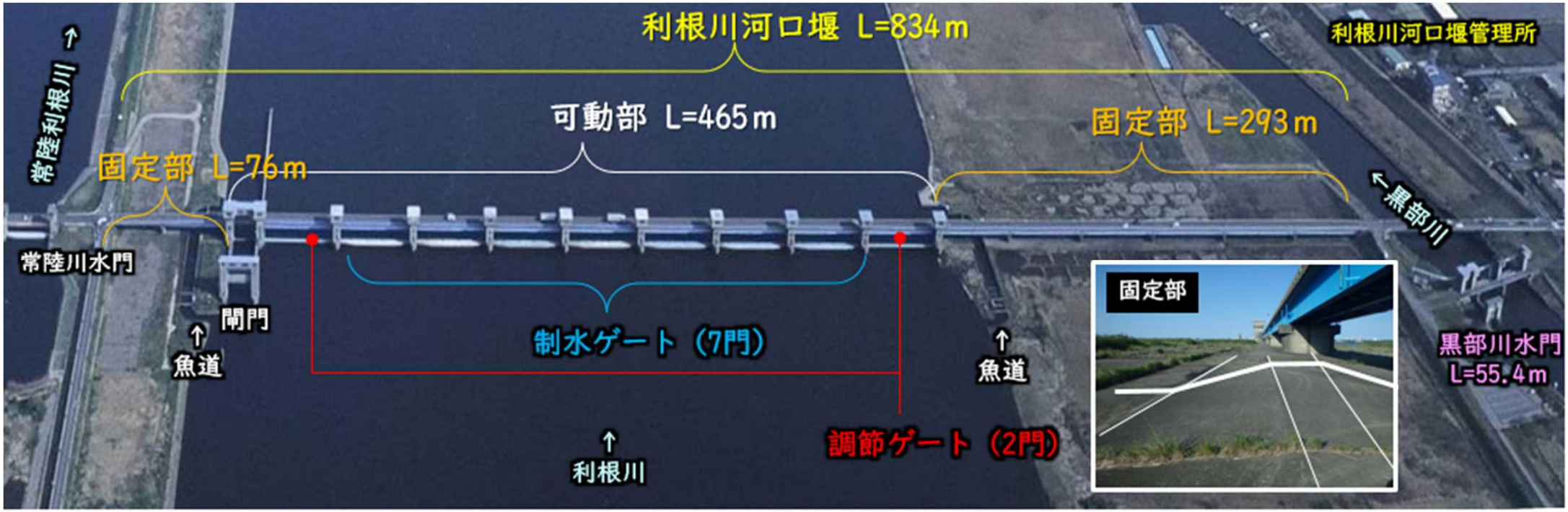
利根川河口堰管理の概要 ②

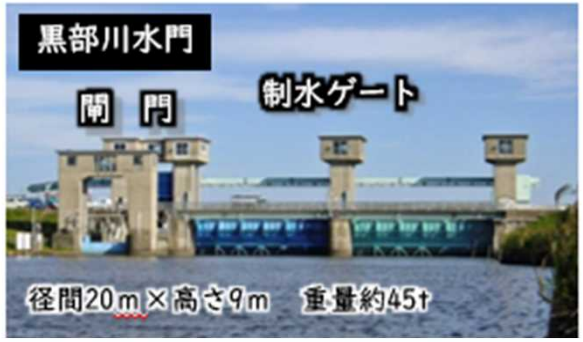
利根川河口堰は、可動部（465m）と固定部（369m）から構成されています。

岸よりの<u>調節ゲート２門、中央の制水ゲート７門を操作して堰上流の水位を保っています</u>。

また、左岸側には閘門（船通し）、左右岸にはそれぞれ魚道を設置しています。

あわせて、黒部川水門の管理も行っています。





平常時と増水時のゲートの状況

写真１　平常時の利根川河口堰（右岸下流から堰を望む）

写真2　全門全開した利根川河口堰（右岸下流から堰を望む）

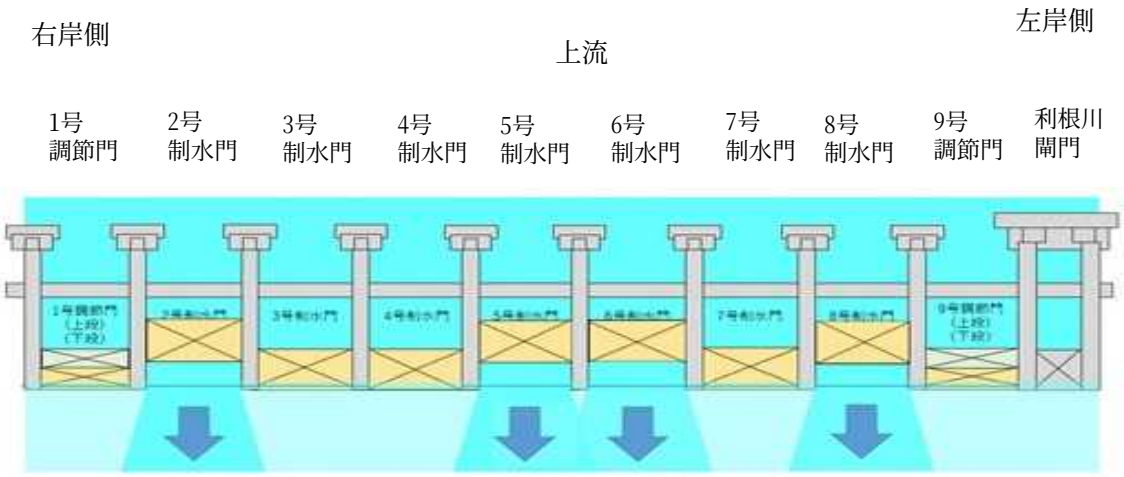
写真2　数門全開した利根川河口堰（右岸下流から堰を望む）

平常時のゲートの状況

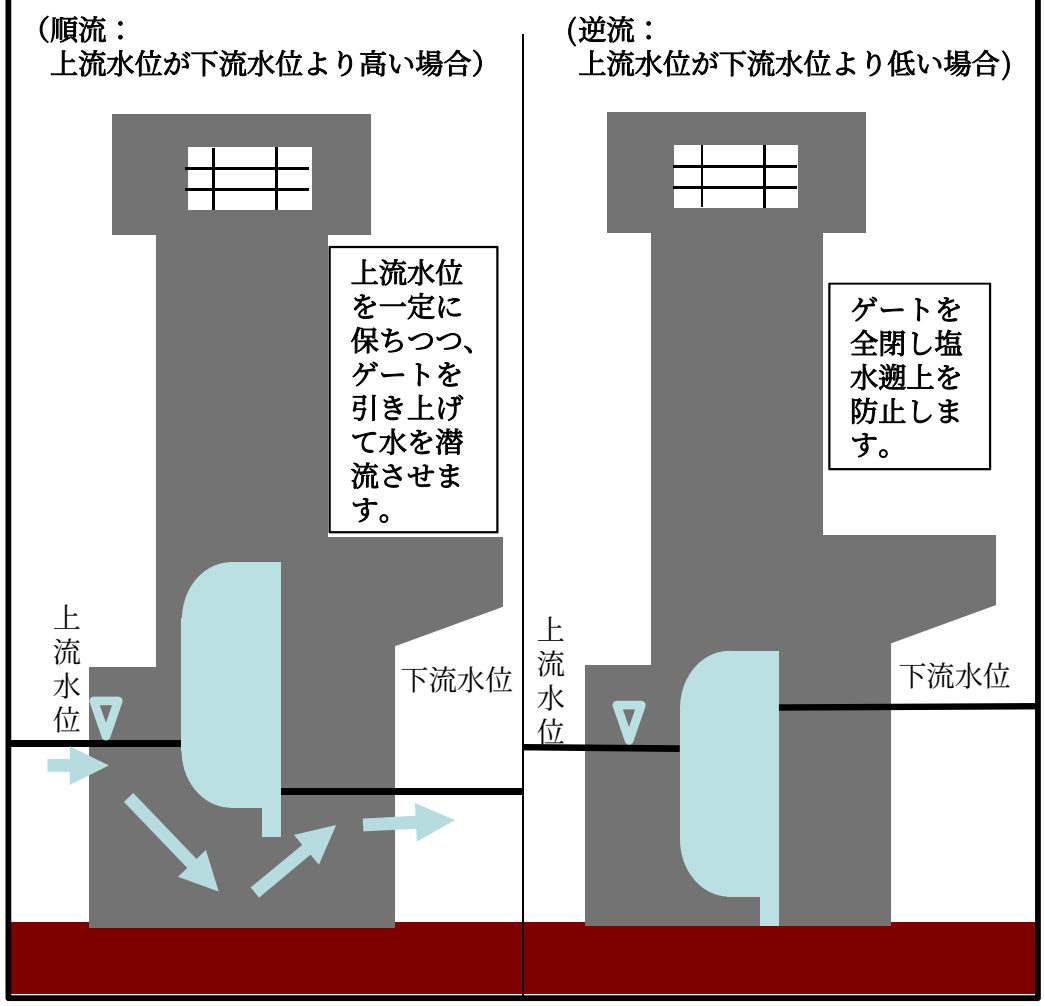
平常時は河川流量、塩化物イオン濃度（塩水の濃度）、潮汐(満ち潮、引き潮)に応じてゲートの操作を行うことにより、塩害防除、および堰の上流の水位を保ち水道用水等の安定取水を可能としています。

写真３　平常時の利根川河口堰

平常時（順流）のゲート操作（模式図:正面図）



平常時のゲート操作（模式図:断面図）



ゲート操作は河川流量、塩化物イオン濃度、河川水位、潮汐に応じて使い分けています。より詳細なゲート操作について知りたい方はこちらから↓
https://www.water.go.jp/kanto/tonekako/shisetsu/gate_shikumi.html

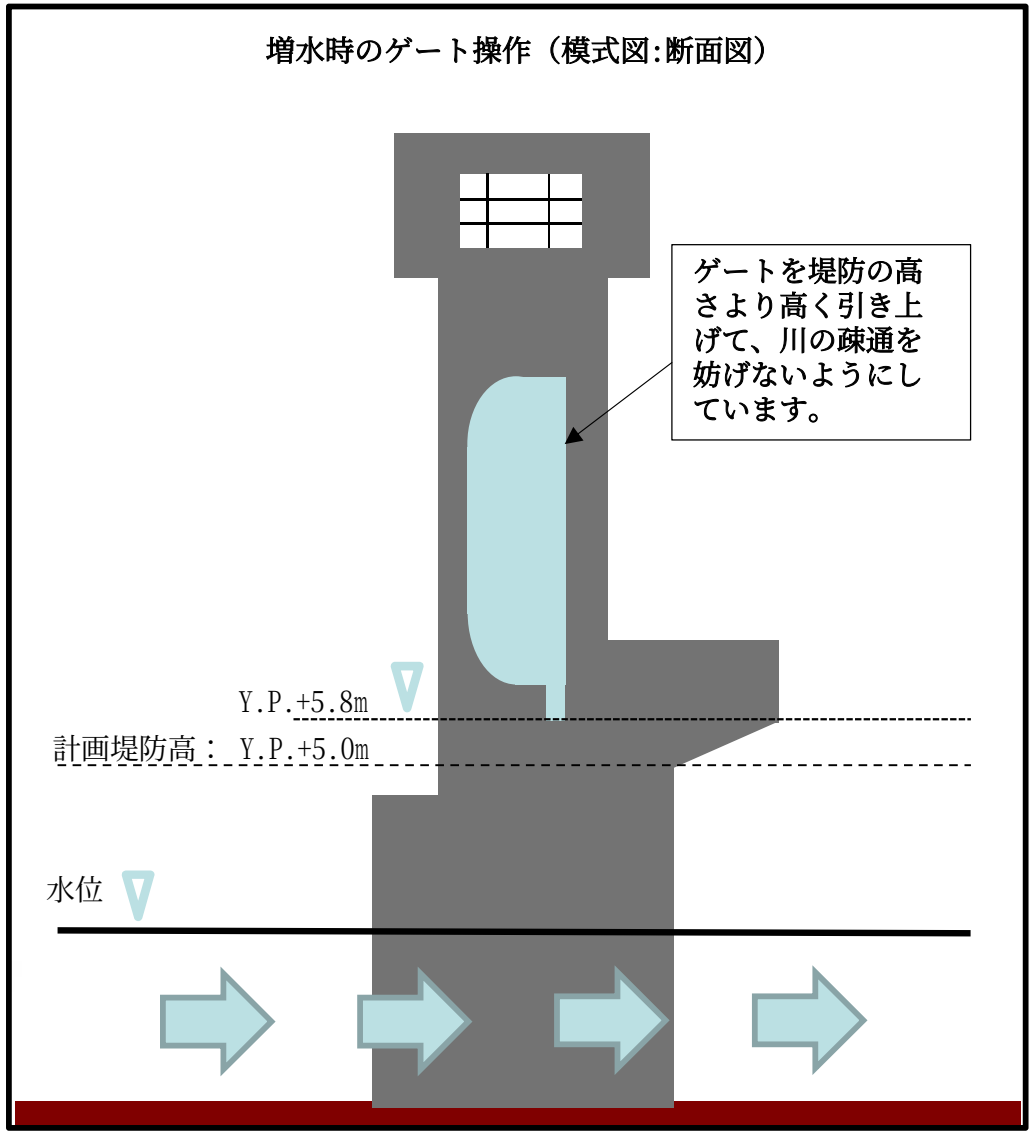
増水時のゲートの状況

増水時には川の疎通を妨げないよう、ゲートを堤防の高さより高く引き上げる全門全開操作を実施します。

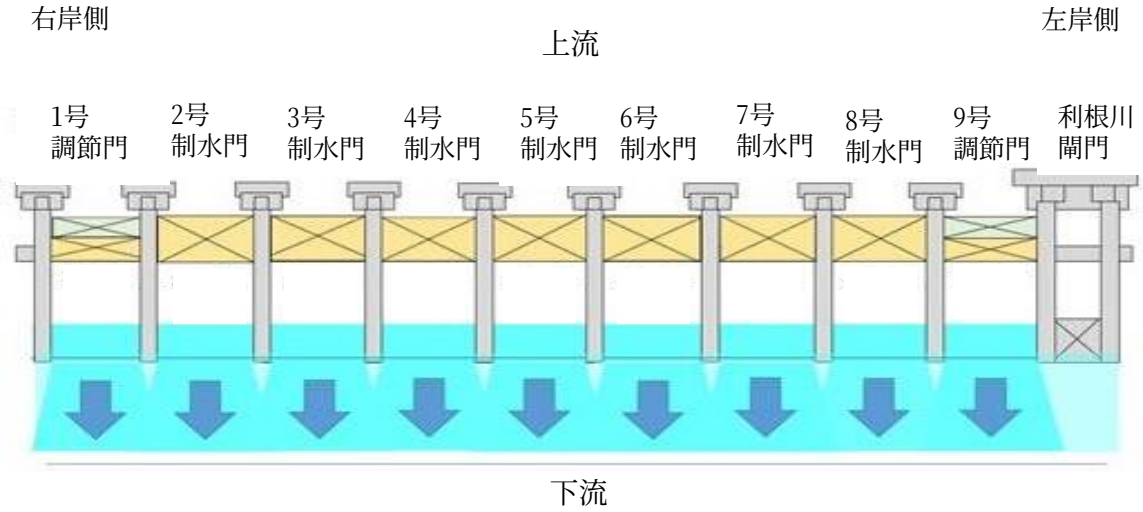
増水時 6月4日10時 時点

写真４　全門全開した利根川河口堰
（堤防高より高い位置にゲートを引き上げました。）

増水時のゲート操作（模式図:断面図）



増水時のゲート操作（模式図:正面図）



ゲート操作は河川流量、塩化物イオン濃度、河川水位、潮汐に応じて使い分けています。より詳細なゲート操作について知りたい方はこちらから↓
https://www.water.go.jp/kanto/tonekako/shisetsu/gate_shikumi.html

水位および降雨状況

○ 前線の影響による降雨と利根川河口堰上流河川水位状況

利根川流域の各地では、前線の影響により活発な雨雲が断続的に生じ、広範囲で強い雨が降り続きました。利根川流域の最も下流に位置する利根川河口堰では、前線に伴う流域全体への降雨の影響により、利根川河口堰地点の河川流量が増加したことから、利根川河口堰地点の河川流量が増加したことから、洪水の安全な流下に支障のないよう、6月2日19時36分から6月5日8時46分まで、ゲートを堤防の高さより高く引き上げる全門全開操作を実施していました。

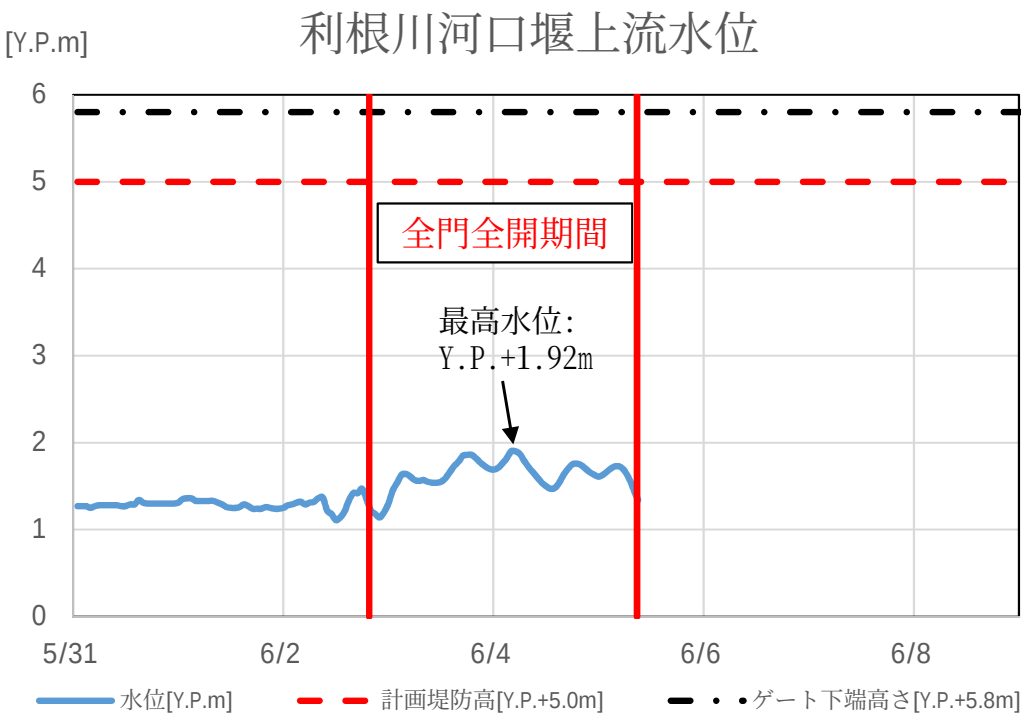
なお、現在は河川流量がやや減少したため、全門全開操作から数門全開操作に移行しています。

○ 利根川流域の降雨状況は、国土交通省関東地方整備局利根川ダム統合管理事務所ホームページを参照ください。

栗橋上流域の累加雨量や、（国交省）八ッ場ダム、（水機構）矢木沢ダム、奈良俣ダム、下久保ダム、草木ダム ダム流域の累加雨量が確認できます。

(https://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/teikyo/realtime2/E002010.html)

利根川流域図



利根川河口堰上流の最高水位、ゲート全開操作回数

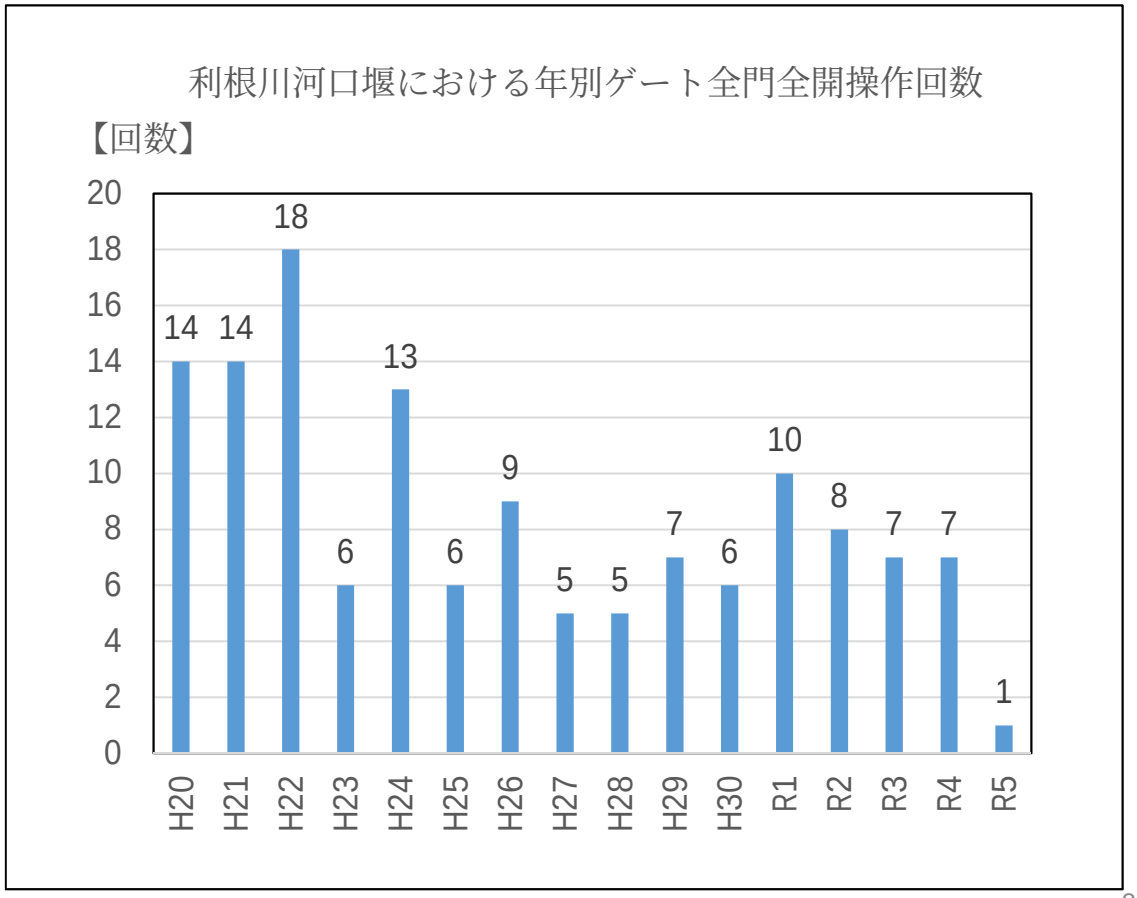
○利根川河口堰直上流地点における管理開始からの最高水位は、令和元年台風第19号によりY.P.+3.46mを記録
（利根川の計画堤防高さは、Y.P.+5.00m）

○<u>令和5年、利根川河口堰が行った全門全開操作回数は1回</u>
(平成20年から令和4年までの年平均の全門全開操作回数は9回)

※<u>全門全開操作回数</u>について、<u>全門全開操作から平常時の操作までの一連操作を１回</u>と集計しています。

利根川河口堰直上流地点における管理開始からの最高水位

順位	年月日	河口堰直上流地点最高水位	出水原因
1位	令和元年10月13日	Y.P.+3.46m	台風第19号
2位	平成27年9月10日	Y.P.+3.08m	関東・東北豪雨
3位	昭和57年9月13日	Y.P.+2.93m	台風第18号
4位	平成13年9月13日	Y.P.+2.92m	台風第15号
5位	平成29年10月24日	Y.P.+2.81m	台風第21号
5位	平成14年7月11日	Y.P.+2.81m	台風第6号



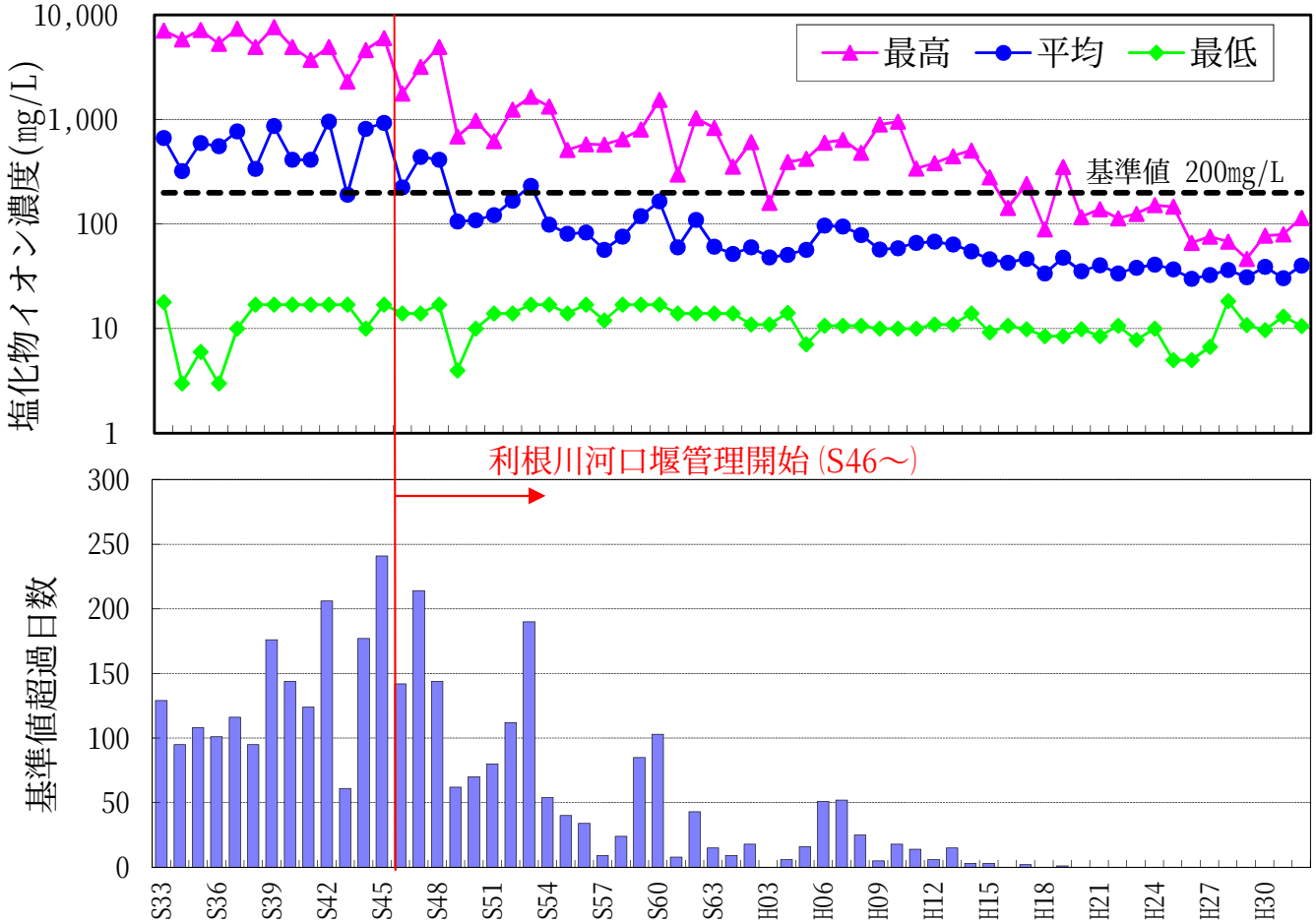
塩害防除効果

利根川河口堰の操作は、塩害の防除を果たしながら魚貝類の棲息に必要な新鮮な塩分を取り入れています。

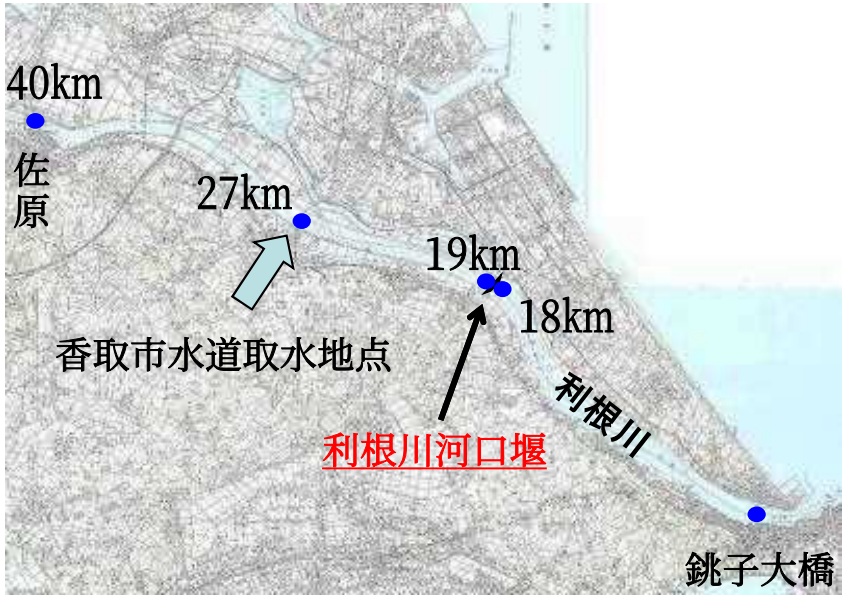
塩害防除のため、上流での塩化物イオン濃度（塩水の濃度）を確認しながら、ゲート操作を実施しています。

<u>香取市水道の取水地点（河口堰から約９km上流の利根川27km地点）での塩化物イオン濃度は、利根川河口堰の管理開始以降、平均値で概ね水道用水（原水）の基準値である200mg/l以下</u>となっています。また、<u>平成20年以降は最高値も基準値以下</u>となっています。

近年、高塩分による取水停止はなく、安定した水供給が実現されています。



香取市水道　塩化物イオン濃度（利根川27km地点）



位置図